

目次

- 1 おおさき産業フェア 2018 で世界農業遺産ブースが開設されました・・・1ページ
- 2 世界農業遺産「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」に学ぶ現地視察を実施しました・・・1ページ
- 3 人材育成研修を実施しました・・・2ページ
- 4 平成 30 年度豊かなむらづくり全国表彰事業において色麻町えごま栽培推進協議会が東北農政局長賞を受賞しました！・・・3ページ
- 5 農業農村整備事業学習会を開催しました・・・3ページ
- 6 色麻小学校5年生が稲刈りの体験をしました・・・4ページ
- 7 第41回全国土地改良大会宮城大会で岩出山「内川」の事業視察が行われました・・・4ページ

世界農業遺産トピックス

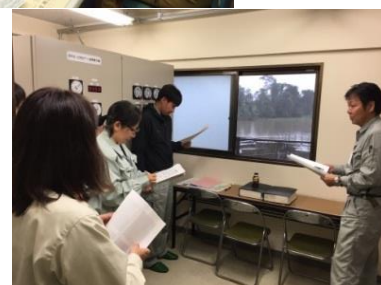
1 おおさき産業フェア 2018 で世界農業遺産ブースが開設されました

平成30年10月12日（金）～13日（土）、大崎地方の企業の技術や製品を展示する「おおさき産業フェア2018」が大崎市古川総合体育館で開催され、そのなかに、世界農業遺産「大崎耕土」のブースが開設されました。ブースでは、世界農業遺産に関するパネルや居久根（いぐね）のシオラマが展示されたほか、みそや醤油、納豆など大崎の発酵食品が紹介されました。12日（土）午後1時半からは、上智大学地球環境研究科教授のあん・まくどなるど氏が「世界農業遺産に学ぶ私たちの暮らし」と題して講演し、約100人が聴講しました。



2 世界農業遺産「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」に学ぶ現地視察を実施しました

平成30年9月27日（木）、世界農業遺産に認定された『大崎耕土』の伝統的水管理システムや伝統的文化施設等の魅力を情報発信するため、北部地方振興事務所女性職員で現地を訪問し、自分の「目で見て」、「聞いて」、「体験して」の調査を実施しました。今回は、江合川水系編として、大堰・内川、三丁目頭首工などで現地研修を行い、大崎土地改良区、江合川沿岸土地改良区より施設の歴史や現在の管理の仕方について説明を受けました。また、岩出山の魅力を探るため、竹工芸館で一輪挿し制作体験や大崎の食文化“糰”を使った食事をいただき、岩出山の伝統について学びました。研修の内容は宮城県北部地方振興事務所のFacebook「アイラブオオサキ」や農業農村整備部HPに掲載していますので、ぜひご覧ください。



3 人材育成研修を実施しました

当部では、部内の若手職員や市町、土地改良区の職員を対象として、農業農村整備事業の円滑な推進を図るための人材育成研修を開催しています。この研修では、農業農村整備事業の果たす役割をはじめ、事業採択から完了までの流れ、農地集積や換地、管内の地質などの講義のほか、実践研修として土壌調査や農業水利ストックマネジメント手法などについて広く理解を深め、知識向上と情報共有を図ることを目標としています。

第1回 平成30年10月5日（金）

農業農村整備事業の実施状況や、事業採択までの流れや必要な協議、世界農業遺産などについて当部の職員が説明しました。また、(株)日本総合地質の宮内代表取締役から「大崎・栗原地域の地質の特徴と地盤リスクからの教訓」について講義していただきました。地盤リスクを防ぐためには、各地域の地質の特徴やこれまでに発生した地盤トラブルに基づく再発防止策を学び、施工に反映させることが重要であると改めて感じました。



▲大崎・栗原地域の地質について



▲コンクリート二次製品について

▼旧品井沼周辺ため池群における環境保全の取り組みについて



第2回 平成30年10月24日（水）

災害復旧や農地集積、土地改良法の改正、換地などについて当部の職員から説明しました。また、宮城県コンクリート製品工業会から「コンクリート二次製品について」、NPO 法人シナイモツゴ郷の会高橋副理事長から「旧品井沼周辺ため池群における環境保全の取り組みについて」講義していただきました。

第3回 平成30年11月14日（水）

ほ場整備事業新規受託調査地区上畑岡地区（栗原市）で土壌調査研修を実施しました。午前中に、迫川上流農業用水中央管理事務所にて、土壌調査の概要について学び、午後からは、参加者が現地で実際に検土杖による土壌の診断を行い、古川農業試験場の佐々木部長より試掘調査の方法についても指導していただきました。



検土杖で土壌を採取!



▲古川農業試験 佐々木部長の講義



▲土壌診断



▲試掘調査

4 平成 30 年度豊かなむらづくり全国表彰事業において色麻町 えごま栽培推進協議会が東北農政局長賞を受賞しました！

平成 30 年度豊かなむらづくり全国表彰事業の表彰式が平成 30 年 11 月 16 日(金)に開催され、色麻町えごま栽培推進協議会が東北農政局長賞を受賞しました。地域の伝統食品である「えごま」の文化を継承するために、生産者が研鑽して栽培工程をマニュアル化し全国有数の産地まで発展させた点や、えごまを通じて世代間の交流を図るなど地域の活性化に貢献している点が高く評価されました。



▲表彰式の様子



5 農業農村整備事業学習会を開催しました



▲学習会の様子

平成 30 年 12 月 12 日(水)、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの 1 年生 37 名を対象に、農業農村整備事業学習会を開催しました。

今回の学習会では、当部職員から農業土木とは何か、農業農村整備事業、農業農村整備部の職場や仕事の内容について説明しました。講義後の質疑では、「ほ場整備事業によって生態系に影響は出ないのですか」「ほ場整備事業の工事はどのくらい時間がかかるのですか」といった質問や宮城県の仕事の内容についての質問もあり、農業土木関係の仕事に興味を持っていただくきっかけになりました。

今回の学習会での学びを高校の授業や将来の進路選択に役立てていただければと思います。

6 色麻小学校5年生が稲刈り体験をしました

平成30年10月5日(金)、色麻小学校5年生およそ50人が春に植えた“みやこがね”の稲刈りをしました。この活動は21世紀創造運動の一環として行われています。

児童のみなさんは、色麻土地改良区、色麻町農業委員会、色麻町公民館、農業生産法人あぐりカッパ、地域農家の方々から指導を受けながら、一生懸命稲刈りにチャレンジしていました。

収穫した米は、11月22日(木)に色麻コミュニティセンターで開催された「収穫祭」で餅にして関係者にふるまわれました。



土地改良区トピックス

7 第41回全国土地改良大会宮城大会で岩出山「内川」の事業視察が行われました



▲事業視察の様子

平成30年10月16日(火)～18日(木)、第41回全国土地改良大会宮城大会が開催され、16日(火)に行われた宮城県総合運動公園(グランディ21)での交歓会では、今後の事業の方針などが確認されました。

17日(水)、18日(木)は、県内の各地で事業視察が行われました。北部管内では大崎土地改良区が管理する岩出山「内川」に全国からおよそ130人が訪れ、「内川」の歴史・伝統を学びました。

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集:北部PRWG